

寄居町名誉町民  
元埼玉県議会副議長

# 石渡 勲氏町葬

## 大勢の参列者がご冥福祈る

寄居町名誉町民・元埼玉県議会副議長  
の石渡勲氏(享年85歳)が平成30年5月21日に急逝されました。

町では、町民の皆さんとともに石渡氏の多大なる功績をしのび、ご冥福を祈るため、6月30日午後2時から中央公民館で寄居町葬(花輪利一郎葬儀委員長)を執り行いました。

地域に人望の厚かった石渡氏は、地域住民から推されて、昭和50年4月、寄居町議会議員に当選され、平成3年3月までの4期約16年の長きにわたり、寄居町発展のために日夜奔走されました。この間、議会運営のまとめ役として、見事なりー

ダーシップを発揮されましたことは、関係者はもちろん、広く町民の皆さんの知るところであります。

平成3年4月には、埼玉県議会議員に当選され、連続4期、平成19年5月までの16年にわたりご活躍されました。平成12年3月から1年間、県議会副議長を務められるなど、真に民意を代表した議会人として、地域の発展に多大な貢献をされました。

寄居町に関しては、埼玉県立川の博物館の誘致、彩の国資源循環工場の誘致、建設、鉢形城公園の保存・整備、さらには、ホンダ寄居工場の誘

致など、郷土の発展に大いに貢献されました。

また、議会議員としての要職を務める傍ら、観光行政にもたいへんご尽力され、寄居町観光協会会長や埼玉県観光連盟会長を歴任され、寄居町はもとより、埼玉県全体の観光振興に力を傾注され、その類稀なる指導力により、観光振興の分野においても多大な功績を収められております。

町の観光行政については、平成5年に、小田原市、八王子市との間で「北条三兄弟 三領の契り」の共同宣言を行った際に先頭に立ち、北条氏を縁とする両市との観光連携による交流を深め、これが平成28年、全国初の三都市間での同時姉妹都市盟約締結につながったことは周知の事実であります。現在でも、三都市間で積極的な交流が図られております。

こうした活動、功績により、さまざまな表彰等を受けられ、平成16年には、町の最高顕彰である石澤・高田賞を受賞。さらには、平成19年に、寄居町名誉町民に推挙され、平成20年には、旭日小綬章を受章されております。

町葬当日は、町内外から多くの方々が参列され、儀仗官先導のもと遺族の胸に抱かれた霊位が入場。花輪葬儀委員長を通じ、儀仗官の手により正面の祭壇に安置されました。島村克己副町長の開式のことばに始まり、その後、故人の遺徳をしのび全員で黙とうを捧げました。続いて、花輪葬儀委員長、岡本安明副葬儀委員長、小泉龍司衆議院議員、上田清司埼玉県知事(代読)、奥野立埼玉県副知事、齊藤正明埼玉県議会議員(代読)、神尾高善埼玉県議会議員)の献花と追悼のことばが捧げられました。引き続き、参列者全員

が哀悼のうちに献花を行い、弔電披露、葬儀委員長あいさつ、遺族代表あいさつがしめやかなうちに終わりました。霊位退場後、轟和男教育長の閉式のことばにより、町葬はおごそかに幕を下ろしました。

石渡氏の郷土の発展に尽くされた功績は、今後も我々町民の心の中に生き続けることでしょう。



### 経 歴

生年月日 昭和8年1月24日

(町議会議員関係)

寄居町議会議員在任期間

昭和50年5月～平成3年3月(4期)

正副議長歴

昭和58年5月～昭和59年5月 寄居町議会副議長

昭和62年5月～昭和63年6月 寄居町議会議長

(県議会議員関係)

埼玉県議会議員在任期間

平成3年4月～平成19年4月(4期)

副議長歴

平成12年3月～平成13年3月 埼玉県議会副議長

(観光関係)

平成4年4月～平成20年3月 寄居町観光協会会長

平成15年4月～平成21年3月 埼玉県観光連盟会長

(主な表彰関係)

平成16年11月 石澤・高田賞

平成18年10月 全国都道府県議会議長会自治功労表彰

平成19年3月 寄居町名誉町民推挙

平成20年11月 旭日小綬章